

■市の人口と外国人市民の人口推移

長浜市における外国人市民※1の人口は、平成21年にピークとなる4,343人となって以降、平成27年1月には2,901人まで減少しました。

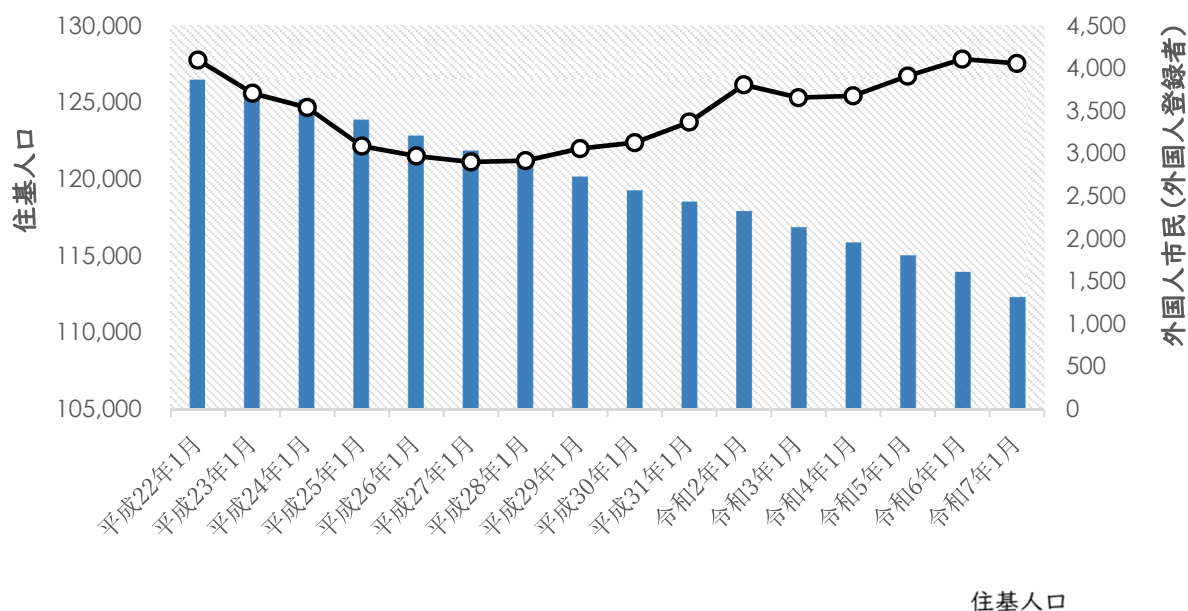
長浜市全体の人口は、平成22年1市6町合併時の126,436人をピークに減少し続けているのに対して外国人市民は平成28年から増加に転じています。

令和2年1月に3,807人となってから、新型コロナウイルス感染症などの影響により、一時的に減少するも再び増加し、令和7年1月現在では、本市の住基人口が112,294人に対して、外国人市民の人口は4,049人、外国人比率は3.6%となっています。

長浜市全体の人口が減少し続けているのに対して、外国人市民の人口は近年、増加傾向にあり、今後ますます長浜市の人口に対する外国人市民の比率が高まることが想定されるため、今後も、日本人市民、外国人市民が共に暮らしやすいまちづくりを推進することが重要です。

※1… 住民基本台帳法の改正及び外国人登録制度の廃止により、平成24年以前は外国人登録者数。

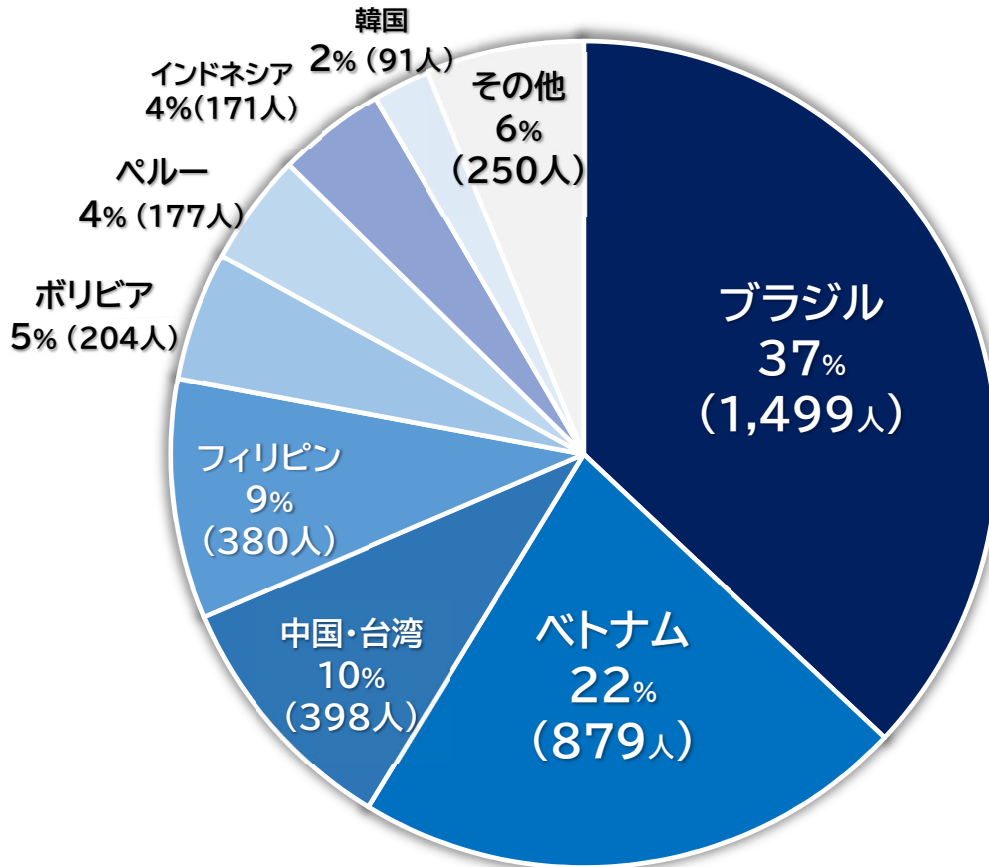
長浜市人口統計



■外国人市民の国籍・地域

外国人市民の国籍・地域別割合

(令和 7 年1月1日現在)



外国人の国籍・地域別人口割合では、ブラジル国籍の方が約39%と最も多く、次いでベトナム国籍の方が約22%を占めています。

H22年1月時点ではブラジルの方が60%以上でしたが、長浜市在住者の国籍・地域が多様化し、近年は、40%未満で推移している状況です。一方でベトナムの方、フィリピンの方などが増加傾向となっています。特にベトナムの方については、増加傾向が顕著で、平成29年以降の7年間で約10倍以上※に増えています。

※(参考)ベトナム国籍の人口推移

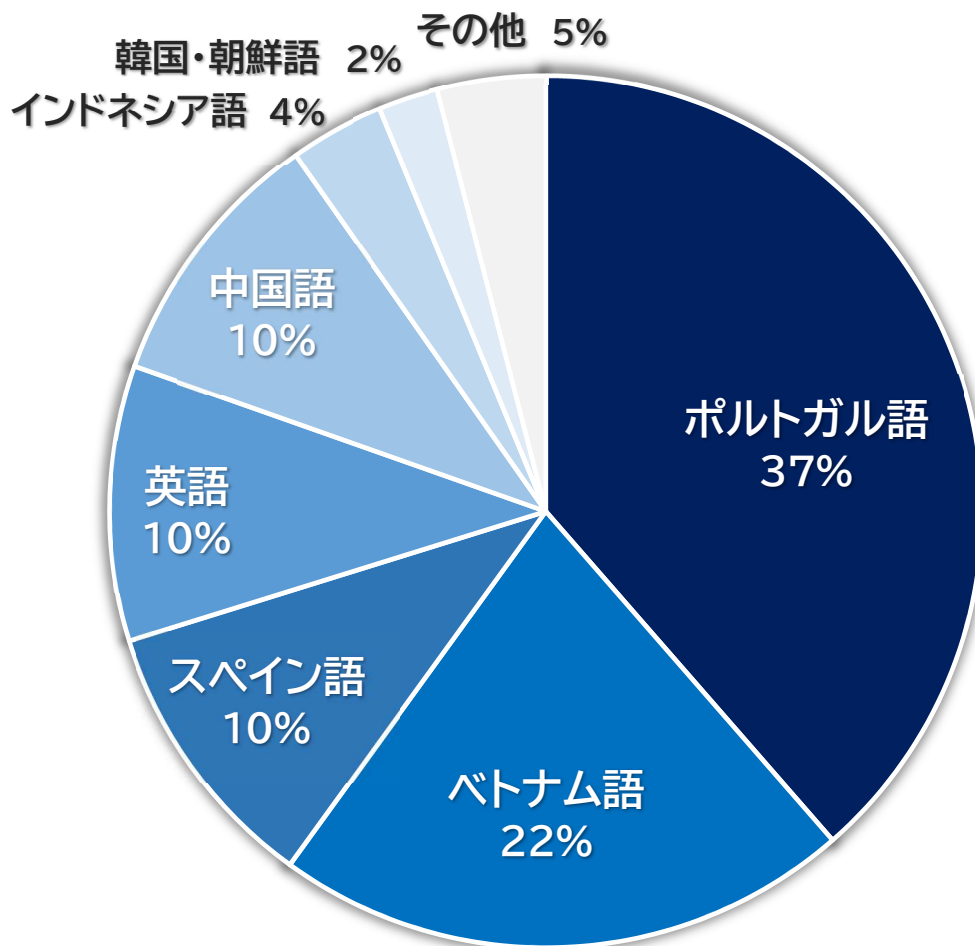
(人)

H22	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
55	85	214	319	444	468	551	731	879	879

■外国人市民の公用語

公用語別 外国人市民の割合

(令和7年1月1日現在)



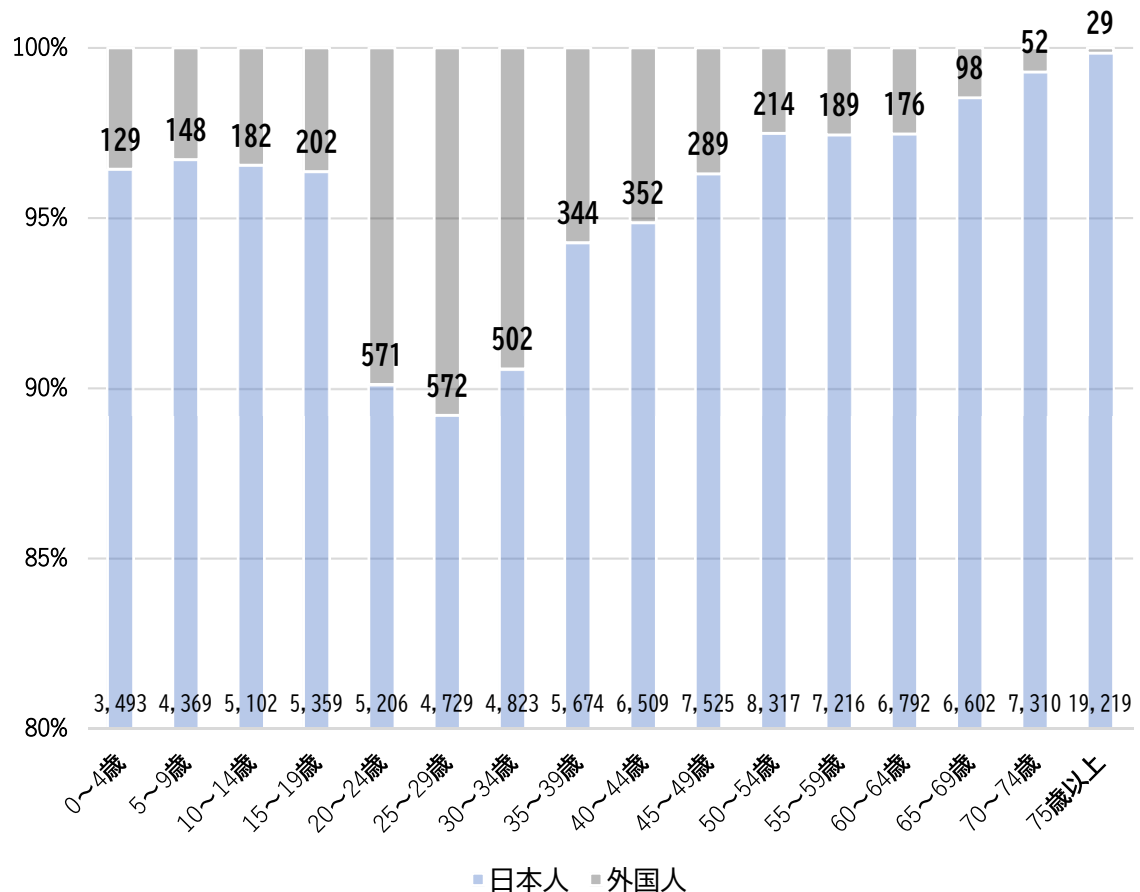
公用語別の割合では、ポルトガル語・ベトナム語・スペイン語・英語・中国語という順番であり、この5言語で、長浜市にお住まいの外国人の約90%に対応できるということになります。

ただし、平成30年1月時点では、外国人市民の国籍・地域数が32か国(地域)であったのが、令和7年1月時点では37か国(地域)となっており、言語・国籍が多様化しているため、本市から発信する様々な情報において、さらなる多言語対応の必要性が増しているともいえます。

■市の人口と外国人市民の年齢別人口割合

年齢区分別 外国人市民の割合

(令和7年1月1日現在)



本市の全体人口に対する外国人市民の人口比率が約3.6%であるのに対して、年齢区分ごとの外国人市民の割合をみると、20歳から34歳の人口については、市の全体人口のうち、約10%が外国人市民であることがわかります。

15歳から64歳の生産年齢人口に関しても、約5.2%が外国人市民であり、本市の労働力の一定割合を担う存在であるとともに、社会保障を支える存在としても重要度が増しているといえます。

こうした外国人市民の年齢構成によっても求められる支援の内容、伝えていくべき情報等が異なるため、今後も変化し続ける外国人市民の状況を注視しながら適切かつ必要な施策を検討していく必要があります。